



2 年次 5 月から始めた研究室活動
今日はグループ研究の打ち合わせで
学年リーダーとしてテーマを提案

池田 直貴 (福岡県立朝倉高校出身)
国際食料情報学部食料環境経済学科 3 年
農業経済研究室
住まい／ひとり暮らし
アルバイト／経営コンサルタント事務アシスタント

1 日編

池田さんの時間割(2 年次後期)

	月	火	水	木	金
1 時限	英語(六)		食料流通論	地理学	
2 時限		食品マーケティング論	現代社会論		食料資源経済論
3 時限		政治経済学			
4 時限	農業貿易論	農と科学の歴史		食料環境経済学演習	研究室
5 時限					

2 年次 5 月に研究室に所属して以来、研究室活動に必要な文献を求めて図書館に通う回数が大幅に増えました。今日は 4 時限目の農業貿易論の予習のために図書館で調べものをしていたら、偶然にも研究室のグループ研究のテーマにぴったりの資料を見つけました。さっそくコンピュータ自習室でその要点をまとめたレポートを作成し、研究室の同期メンバーに報告・提案しました。

1 時限目の授業(英語)

今日は英語でのグループディスカッションを通じて、話す訓練に徹した授業でした。



研究室の
連絡事項をチェック

研究室で学年リーダーに指名されて以来、授業が空いた時間にはなるべく研究室に顔を出して、活動スケジュールや連絡事項をチェックしています。



学食で友人とランチ

短大部の友人 2 人と待ち合わせてカフェテリア「グリーン」でいっしょにランチ。豊富なメニュー、美味しさ、低価格と 3 拍子揃った学生に人気の学食です。

4 時限目の授業(農業貿易論)

今日の授業ではアメリカの生産者優位の農業ビジネス事情を知り、日本との違いを痛感しました。

研究室のメンバーと打ち合わせ



研究室が次の収穫祭でおこなう研究発表のテーマについて 2 年生が集まり話し合いました。私は「減反廃止から飼料用米作付の可能性」を提案し、用意した資料をもとに趣旨を説明しました。

アルバイトへ

今日は研究室の先輩から紹介された経営コンサルタント会社でアルバイト。小田急線の千歳船橋駅からバイト先に向かいます。キャンパスからは同じ線の経堂駅も最寄駅に利用できますが、私は自宅に近い千歳船橋駅とその駅前商店街をよく利用しています。

池田さんの 1 日(2 年次)

7:30 起床

1 年次はキャンパス隣の学生寮で生活しましたが、2 年次から大学近くのワンルームマンションでひとり暮らしをしています。朝食後に登校準備をして大学へ。

8:45 桜丘門から

9:00 キャンパスに到着

キャンパスまでは徒歩で 5 分。家が近いのは何よりの魅力です。1 時限目の英語の授業がおこなわれる 1 号館 2 階に向かいます。



10:35



図書館で
4 時限目の予習

ゆったりとした内観の図書館は、文献検索や思索にぴったりの環境です。今日の 4 時限目は「農業貿易論」。米国の穀物メジャー企業について学んで以来、興味をもち、毎回文献で予習をしてから授業に臨んでいます。

10:50

コンピュータ自習室で
レポート作成

アカデミアセンター 6 階にあるコンピュータ自習室の PC を利用して、このあとの研究室の打ち合わせでメンバーに提案するための資料をまとめました。



12:10

14:40

16:20

17:30

21:45 帰宅

自炊を基本に健全な食生活の
あり方を探る毎日

食料経済を学んでいることがきっかけで、ひとり暮らしの自炊を通じて健康的な食生活のあり方を探っている毎日です。実家からは毎月お米を 10kg 送ってもらい一粒残さず完食。とくにカレー作りは日に日に上達し、いまでは自信のメニューに。毎月の貯金は今後海外でおこなう研修の費用に役立てる予定です。

[1 カ月の収支]

●収入	
仕送り	95,000 円
アルバイト	30,000 円
収入合計	125,000 円
●支出	
家賃	65,000 円
食費	15,000 円
光熱費	5,000 円
娯楽費	10,000 円
衣料費	10,000 円
貯金	20,000 円
支出合計	125,000 円

1 年編



半年かけて準備した収穫祭の文展
各地の農業の現状視察を経験し
農業と福祉の連携を研究の焦点に

菊池 美実 (東京都・下北沢成徳高校出身)
地域環境科学部生産環境工学科 4 年 農村環境工学研究室
住まい／自宅通学
アルバイト／学習塾講師
クラブ・サークル／若草歌の会(軽音楽サークル)

菊池さんの時間割(3 年次後期)

	月	火	水	木	金
1 時限		環境学習と体験活動	流域水文学	水利施設工学	
2 時限		農村環境工学		TOEIC 英語(一)	
3 時限	農村計画学	専攻実験	建設システム工学	学年ゼミ	
4 時限		専攻実験	現代社会と経済	環境情報学	
5 時限		全体ゼミ			

3 年次は研究室活動が学びの中心になりました。収穫祭の文化学術展(文展)で発表するグループ研究には 5 月から半年かけて取り組み、9 月には東日本大震災で被災した農地も視察。その成果を文展で発表しました。その間、夏休みには仙台で農水省のインターンシップ、秋には宮城や神奈川で稲刈りボランティアに加わるなど、多角度から農業と社会の接点に切り込んだ 1 年間でした。

菊池さんの 1 年間(3 年次)

4 月

研究室に所属し土壌を採取

農村環境工学研究室に入室後、さっそく海老名市の圃場に出かけ、土壌の専攻実験で使う土の採取をおこないました。



5 月

収穫祭で発表する研究をスタート

収穫祭の文化学術展(文展)で発表する研究テーマを「東日本大震災からの農地の復興」に決め、3 年生全員で取り組みを開始しました。

6 月

7 月

前期定期試験

8 月

夏休み



オープンキャンパスの
スタッフに

オープンキャンパスでは、参加者のための総合案内所のスタッフとして、場内ガイド役を務めました。

9 月

後期授業開始

文展の研究のため
南三陸町で現地調査

研究室の有志たちで南三陸町を訪ね、1 泊 2 日で復興する現地の取り組みの様子を調査しました。



10 月



文展の研究発表の仕上げ作業

収穫祭が目前に迫り、研究室の 3 年生全員が文展で発表する研究のまとめに明け暮れる毎日でした。

11 月

収穫祭の文展で研究発表

私たちの研究発表を 3 千人近くの人々に見てもらうことができました。先生の評価も上々で、全員が達成感に満ちた収穫祭になりました。

12 月

1 月

後期定期試験

2 月

卒業研究のテーマを検討

4 年次におこなう卒業研究のテーマを固める時期に入りました。参考になればと考えて三宅島を訪問し、かつての火山災害から復興をめざす現地の農業を視察しました。



4 年次へ



実験レポート作成のかたわら

専攻実験のレポート作成で忙しい合間をぬって、所属サークルの「若草歌の会」で学内ライブをおこないました。

インターンシップに参加

夏休みを利用して農林水産省のインターンシップに参加し、宮城県で 2 週にわたり廃棄物の点検などをおこなう行政の仕事を視察しました。



ボランティアで
稲刈りを体験

昨秋に続き自主的なボランティアで宮城県や神奈川県を訪れ、たわわに実った稲の収穫作業に加わりました。

富士山麓で茅刈りの
ボランティア

富士山麓の茅葺き住宅改築のボランティアに参加。高原の茅場を訪れ、黄金色に冬枯れした茅を刈りました。

